

埼玉県生協連 2019 年度第 3 回活動委員会

日時	2019 年 12 月 12 日 (木) 14 時 30 分～16 時 00 分
場所	市民会館うらわ 7 階会議室
出欠	別紙参照
次第	1. 出欠報告 (事務局)

■議題

専務理事あいさつ

I. 話したいこと

1. 12/12 組合員活動交流会ふりかえり	当日口頭
2. 彩の国ドリームフェスタ (11/16-17) ふりかえり	事前資料 P 1
3. 台風 19 号災害関連	事前資料 P 2- 7
4. 埼玉県生協連が取り組む年間スケジュール	事前資料 P 8-10
5. 11-12 月活動報告書と各会員生協資料	当日別冊

II. 日本生協連からの報告 (中央地連)

当日別冊

III. 確認したいこと

1. 埼玉県生協連 2019 年度上期まとめと下期課題	事前資料 P11-20
2. 埼玉県食品安全局との懇談について	当日資料
3. 関東農政局との懇談について	当日資料
4. 1/17 助け合い活動交流会について 再掲	事前資料 P21
5. 次年度の埼玉県消費者大会に関する報告 (第 7 回実行委員会報告)	事前資料 P22
6. 県内消費者団体地区別研修会ご案内	事前資料 P23-24
7. 2/12JA 女性組織協議会との早春交流会ご案内	事前資料 P25
8. 2/28 第 2 回組合員学習会ご案内	当日資料
9. 会員生協にお願いする集約の項目について	当日資料

IV. 報告したいこと

1. 業務報告	
(1) 埼玉県生協連 11 月度のまとめと今後の課題	当日資料
2. 個別報告	
(1) 3 都県連共催「福祉事業公開学習会」(10/11) 報告	事前資料 P26-27
(2) 第 2 回災害対策委員会(10/31) 報告	事前資料 P28
(3) 埼玉県委託事業 埼玉県生協役職員研修会(11/21) 報告	事前資料 P29
(4) 第 55 回埼玉県消費者大会関連	
① 埼玉県との懇談会(11/28) 報告	当日資料
② 市町村における消費生活関連事業調査報告	当日別冊
(5) ヒバクシャ国際署名埼玉連絡会(11/6) 報告	事前資料 P30

V. 報告したいこと②文書報告

1. 埼玉県生協連 2019 年度第 2 回活動委員会(10/17) 報告	事前資料 P31
2. 埼玉県生協連 2019 年度第 3 回理事会(11/21) 報告	事前資料 P32
3. 市民新電力「彩の国でんき」(仮称)設立をめざす集いご案内	事前資料 P33
4. 活動日誌と予定	当日資料

次回の活動委員会は、2020 年 2 月 14 日 13 時 30 分～ 埼玉県生協連会議室です

2019 彩の国 食と農林業ドリームフェスタ出展報告

2019年11月22日 埼玉県生協連

1. 報告の趣旨

- (1) 11月16・17日に開催された2019彩の国 食と農林業ドリームフェスタに、協同組合間連携の一環として、4会員生協と埼玉県生協連が出展しました。会場となったまつばら綾瀬川公園には2日間で51,000人が訪れました。
- (2) 今年度は4会員生協と埼玉県生協連、フードバンク埼玉の6つのテントを一体化する企画として、クイズスタンプラリーを実施し、520人が参加しました。
- (3) 協同組合間連携の場として、次年度も出展する予定です。今年度の振り返りを行い、次年度のドリームフェスタに活かします。

2. 報告の内容

- (1) 生協関係の一行に並んだ6つのテントでは、食育をテーマにした野菜釣りゲーム、握力測定と健康チェックなど各生協が工夫を凝らした活動紹介を行いました。
- (2) クイズスタンプラリーでは、埼玉県生協連テントをゴールに5つのテントを周る流を作ることができ、生協やフードバンクの活動を知る機会となりました。
- (3) 5つのテントを周った参加者からは「生協と言っても1つではなく、埼玉には多くの生協があることがわかりました」「フードバンクと言う名前は知っていても、具体的に何をしているのかは知りませんでした。お話しが聞けて良かった」などの感想が寄せられました。



コープみらい



医療生協さいたま



パルシステム埼玉



生活クラブ生協



フードバンク埼玉



埼玉県生協連

3. 次年度に向けて

今回実施したクイズスタンプラリーは、生協関係のテントを一体化させることが出来ました。クイズの内容をテントの活動紹介と連動させるなど、内容についてはふりかえりを行い、検討を行います。

台風19号の主な被害状況

令和元年11月22日
14時時点

人的被害

死者3名、負傷者33名

県管理河川

溢水・越水55箇所、決壊2箇所

住家被害

6,278棟

(内訳) 全壊: 113棟
半壊: 180棟
一部破損: 455棟
床上浸水: 2,248棟
床下浸水: 3,282棟

※ 10/25大雨による被害 (床上1、床下1) 含む。

その他県管理施設

- 県営住宅: 坂戸東坂戸住宅で床上浸水 (1階)
- 県営公園: 4 公園で冠水
: 秩父ミューズパーク内で斜面崩落
- 教育施設: 設備の破損・故障189校 (機関)
※ 市町村立学校を含む

県管理道路

通行止 延べ 129箇所

(内訳) 土砂流出: 31箇所
路肩崩落: 6箇所
道路冠水等: 92箇所

農林業

農作物: 約161ha (ねぎ、いちご等)
ハウス: 197棟
農業機械: 391件 等

商業

被災中小企業335社



＜今回の CONTENTs＞

1. 大阪府生協連による長野市へのボランティアバスと炊き出しの取り組み
2. いわて生協によるバスボランティアの取り組み
3. 日本生協連企画「ボランティアバス協同組合号」の取り組み
4. 他団体の動向
 - (1) 台風 19 号被災地支援全国情報共有会議【第 2 回拡大版】の開催 (JV0AD)
 - (2) 災害ボラサポ・台風 19 号 (中央共同募金会)

会員生協での取り組み情報がありましたら、日本生協連地域・コミュニティ担当(前田・松原)までご連絡ください。(連絡先: 電話 03-5778-8135、メール chiiki-comm@jccu.coop)

1. 大阪府生協連による長野市へのボランティアバスと炊き出しの取り組み

大阪府生協連は、台風 19 号により被害を受けた長野県長野市穂保地域で第 2 回目のボランティアバス運行を実施しました。大阪府下の生協組合員・職員・理事に加え、おかやまコープの職員も加わり、総勢 34 人が参加しました。

11 月 22 日(金)の夜 23 時に J R 大阪駅近辺から出発し、3 回の休憩を挟んで、7 時 30 分頃にコープながのコープデリ長野センターに到着しました。ここで、着替えを済ませ、炊き出し用の荷物を降ろして、長野市北部ボランティアセンターのサテライトりんごの郷に移動しました。ボランティア受付の後、スコップやバケツ、一輪車等の道具を借りて、徒歩



↑大阪府生協連のボランティアバス

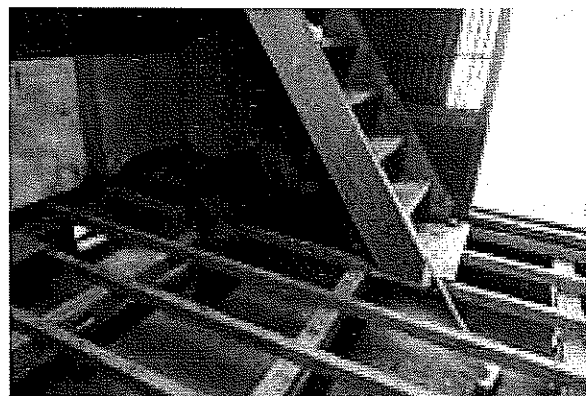
で活動地点に移動しました。

6 グループで 4 か所の被災家屋に分かれて、住民の方の指示により、家屋内の泥だしや、廃棄物の処理、高圧洗浄機による洗浄作業などの活動をしました。3 週間前の第 1 回ボランティアから、状況はかなり進展しているも



↑家屋の側溝での泥かきの様子

の、まだまだボランティアが必要な状況でした。住民の方もかなり疲れている様子ですが、ボランティアには、やさしく接していただき、休憩時にはコーヒー等でもてなしていただきま



↑家屋内での清掃の様子

した。参加者からは、「最初と比べて明らかにきれいになった」「人の繋がりを感じ、ありがとうって直接言ってもらえるってすごいパワーになる」等感想が寄せられました。

午後2時半ごろまで活動し、りんごサテライトに戻り、道具類を清掃・返却しました。送迎バスで、コープながのコープデリ長野センターに戻り、着替えの後、長野市立豊野西小学校の避難所に向かいました。今回は「たこ焼き」「おでん」「コーヒー」の



↑ 炊き出しの本場大阪のたこ焼き

炊き出し活動を行いました。本場大阪のたこ焼きは、大人気で、行列がたえない状況でした、コーヒーもお菓子と一緒にしてお渡しし、ホッとできる時間でした。たこ焼き約 380 食、おでん約 300 食をご提供できました。

その後、お風呂で汗を流し、長野県を夜 22 時 30 分頃出発し、翌朝 5 時 15 分過ぎに JR 大阪駅に到着し、解散しました。「0 泊 3 日」と強行スケジュールでしたが、意義のある活動ができました。



↑ 炊き出しは大人気で寒い夕方にもかかわらず大行列に



↑ ボランティアバス参加者の大阪と岡山の皆さん

(大阪府生協連ホームページ)

<http://www.osaka-union.coop/activity/shien/article/2019/08.html>

(おかやまコープホームページ)

https://okayama.coop/information/detail.php?id_information=2013

2. いわて生協によるバスボランティアの取り組み

いわて生協では、10月23日から、台風19号で被害を受けた岩手県久慈市、譜代村、宮古市にむけてボランティアバスを運行しました。11月7日までで4回運行し、のべ45人の組合員がボランティアとして参加しました。いわて生協では東日本大震災、3年前の台風10号災害の時にもボランティアバスを運行しています。今回は現地の災害ボランティアセンター等に確認のうえ平日のボランティアが少ないタイミングでバスを運行しました。

10月30日に実施された譜代村での活動には14人が参加し、村の中心部の住宅で、床下の泥だし作業を行いました。広い床下にはびっしり泥が詰まっており、床下に潜っての作業もありました。ボランティアのみなさんには大変な作業となりましたが、帰りのバスでは「大変だったが少しでも片付いて良かった」との声が出されました。



↑ 普代村での住宅の床下泥出し作業の様子



↑ 久慈市での土砂撤去作業の様子

(いわて生協ホームページ)

<https://www.iwate.coop/information/detail.php?p=684>

(IBC 岩手放送ホームページ：10月30日テレビ放映)

https://news.ibc.co.jp/item_37687.html?fbclid=IwAR2XuXlt9XaOAR-PaffGNiNe8IriXOh-T101B2o5Ukfg0po0zdxK5kV_Z5k#close

3. 日本生協連企画「ボランティアバス協同組合号」の取り組み

11月24日、日本生協連で企画した「ボランティアバス協同組合号」が、台風第19号で被災した栃木県佐野市に入り、参加したさまざまな協同組合の役職員が被災地の支援を行いました。

「ボランティアバス協同組合号」は日本生協連が企画し、日本協同組合連携機構（JCA）、大学生協連、コープ共済連など7団体に参加を呼びかけたものです。

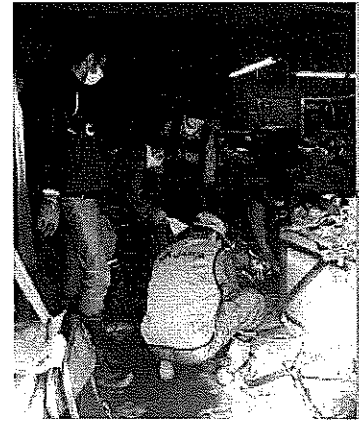
当日は、呼びかけに応えた生協・JA・ワーカーズコープなどさまざまな協同組合の全国組織、JCA、栃木県生協連、日本ボランティアコーディネーター協会の役職員・関係者24名が参加し、水害で被災された方の家屋の片づけを地元ボランティアの方たちとともに行いました。家屋の家主の方に搬出して良いかどうかをそれぞれ確認しながら作業を進めました。帰りのバスでは日本ボランティアコーディネーター協会の疋田さんより、振り返りの時間を設けていただき、「『泥ではなく人を見る』」ことでただ作業を効率よくこなすだけでなく、被災者の目線に立って作業を行うことの大切さを参加者一同で感じました。



↑ 栃木県に入り、栃木県連の田畑事務局長からレクチャーを受けました



↑ 家屋の前で「CO・OP」ビブスを着た参加者が集います



↑家屋内の清掃・家財搬出の様子。家主の方に確認をしながら急ぎすぎず作業を進めます。



↑ボラバス企画者の日本生協連松原担当と
栃木県生協連の田畑事務局長

↑ボラバス参加者での集合写真。現地で合流した方も。

(日本生協連ホームページ)

https://jccu.coop/info/announcement/2019/20191127_01.html

(栃木県生協連：災害復興関連情報)

<http://tochigikenren-coop.com/saigai-report.html>

(農業協同組合新聞記事)

<https://www.jacom.or.jp/noukyo/news/2019/11/191126-39755.php>

4. 他団体の動向

(1) 台風19号被災地支援全国情報共有会議【第2回拡大版】の開催 (JV0AD)

台風19号の発生から間もなく2か月。多くのボランティア、NPO等が支援活動を行っていますが、被災規模が甚大な地域では、まだまだ復旧途中にあります。

被災各地の現状を共有し、引き続きの支援の必要性について協議するために、全国情報共有会議【第2回拡大版】が開催されます。今回は、東京都災害ボランティアセンターによる情報共有会議との合同開催となります。



《台風19号被災地支援 全国情報共有会議【第2回拡大版】》

◇日時：12月3日(火) 18:30~20:45

- ◇場所：飯田橋セントラルプラザ 12 階会議室(新宿区神楽河岸 1-1)
- ◇対象：支援を実施または検討されている NPO・企業等団体・組織の皆様、マスコミの方も歓迎します！
- ◇内容：災害ボランティアセンター運営状況の報告、義援金・支援金の現状、宮城・福島・栃木・茨城・長野などの現地活動団体からの現状報告ほか
- ◇申し込み：下記より必要事項を記入の上、申し込みください。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSf0zxEruGKp28xZHAQaNdJ4bHVakgMxbG32JhjY8E6CcdWxrA/viewform>

ぜひ、全国の生協におかれてもご参加ください。

(台風 19 号被災地支援 全国情報共有会議【第 2 回拡大版】のご案内：JVOAD HP より)
<http://jvoad.jp/blog/news/>

(2) 災害ボラサポ・台風 19 号（中央共同募金会）

社会福祉法人中央共同募金会では、被災地で被災された方の生活の復旧、復興に係るボランティア活動などの被災者支援活動を応援する「台風 19 号災害に伴うボランティア・NPO 活動サポート募金（災害ボラサポ・台風 19 号）」の募集を行っています。今後、支援活動が長期化することが考えられるため、活動日数 31 日以上を対象とした中長期助成の公募を実施しています。応募締め切りは、12 月 8 日（日）必着です。生協でも応募することができますので、ぜひご活用ください。既に終了した活動でもさかのぼって応募することが可能です。詳細は以下のページから募集要綱をご覧ください。

(災害ボラサポのリンク)

<https://www.akaihane.or.jp/saigai/2019-typhoon19/oubo01-2/>

■ボランティアバス運行時の留意点

参加費を集めてボランティアバスを運行する場合は、旅行業法上の旅行に該当します。ただし、観光庁が指定した災害であれば例外対応をとることが可能、となっています。今回の「令和元年台風 19 号」災害は、この例外対応のとれる災害に指定されています。詳細は下記よりご確認ください。

http://www.mlit.go.jp/kankocho/topics06_000161.html

*参加費無料の場合は、旅行業法上の旅行には該当しませんので、上記対応は不要です。

以上

学習会・交流会等日程およびテーマ (案) 一覧

網掛けは実施済

2019 年 12 月 2 日現在 埼玉県生協連

月	日時	学習会・催事名	位置づけ・対象	テーマ	会場
6 月	26 日 (水) 19:00～21:00	さよなら原発埼玉県民集会 プレ学習会	主催:実行委員会 一般	地図から消される街 8 年 後の福島避難者	浦和コミュニティセンター
7 月	3 日 (水) 10:30～13:00	第 1 回組合員学習会	主催:県連 組合員活動リーダー80 人	子どもの貧困:シンポジウム 形式で生協・団体の事例 報告	浦和コミュニティセンター 第 13 集会室
	12 日 (金) 10:30～	第 55 回埼玉県消費者大会 プレ学習会	主催:実行委員会 消費者団体 100 人	憲法を学ぶ 弁護士 伊藤真さん	市民会館うらわ 705・706
	7/27 (土) ～29 (月)	平和のための 埼玉の戦争展	主催:実行委員会 一般		浦和コルソ 7F ホール
8 月	27 日 (火) 10:30 分～ 15:00	県内消費者団体 全体研修会	主催:消団連 消費者団体 100 人	コミュニケーション力ア ップ学習	埼玉会館ラウンジ
	28 日 (水)	消費者力アップ学習会	主催: 一般	「キャッシュレスの時代! 信用格差が生まれる??」	浦和コミュニティセンター 第 13 集会室
		<u>適格消費者団体受託事業</u> 不当表示の見分け方講座	主催:埼玉県 一般	消費者力	4～5 会場
10 月	5 日 (土) 14:00～ 16:30	さよなら原発埼玉県民集会	主催:実行委員会 一般 1000 人	「忘れない、悲惨なフクシ マ事故」小出裕章さん	市民会館おおみや大ホール
	10 日 (木) 10:30～12:30 13:30～15:30	埼玉県消費者大会 記念講演 同分科会	主催:実行委員会 消費者団体・一般 1000 人 4 テーマ	「SDGs を自分ごと化し て、暮らしを見つめなおそ う!」	埼玉会館大ホール 小ホール、ラウンジ他

					食、消費者課題、防災・減災、環境	
11月	21日(木) 13:30～15:30	埼玉県委託事業 役職員研修会	主催：埼玉県 会員生協役職員 60人	日本生協連の福祉政策＋ 2030年ビジョン	浦和コミュニティセンター 第13集会室	
12月	2日(月)	消費者力アップ学習会 Vol.2	主催：埼玉消費者被害をなくす会 一般	キャッシュレス決済と利用時の注意点	浦和コミュニティセンター 第13集会室	
1月	12日(木) 10:30～ 14:30	埼玉県委託事業 組合員活動交流会	主催：県連 組合員活動リーダー100人	楽しい会議のすすめ方、共通認識の作り方	市民会館うらわ705・706	
	17日(木) 10:30～ 14:30	埼玉県委託事業 助け合い活動交流会	主催：県連 助け合い活動のコーディネーター、活動に関わる理事・役員等 60人	報告①事例報告 ②しくみ報告 活動交流	浦和コミュニティセンター 第15集会室	
	20日(月) 28日(火) 7日(金) 10日(月)	県内消費者団体 地区別研修会	主催：消団連 消費者団体各 60人	プラスチック問題について 学ぶ、ワークショップ含む 講師 (一社) JEAN	熊谷市男女共同参画推進センター コーププラザ春日部 東武バスケットホール上尾 東上パールビルディング川越	
2月	12日(水) 10:30～ 14:00	JA 埼玉県女性組織協議会 との早春交流会	主催：協同組合間提携協 組合員活動リーダー25人	女性視点で防災・減災について考える ワークショップ	こくみん共済 coop 会議室	
	28日(金) 10:00～ 11:50	埼玉県委託事業 第2回組合員学習会	主催：埼玉県 組合員活動リーダーおよび 役職員	「SDGsの国内展開とプラスチック問題」(仮) 講師 田崎智宏さん	浦和コミュニティセンター 第15集会室	
3月	未定	消費者力アップ学習会 Vol.3	主催：埼玉消費者被害をなくす会 一般	消費者力	未定	

随時		適格消費者団体受託事業 消費者被害防止サポーター 養成講座	主催：埼玉消費者被害をな くす会 一般	消費者力	12会場
5月		協同組合連携関連 学習会	主催：未定 協同組合関係者〇人	JCA役員からの講演と活 動報告で組み立てる予定	未定

活動委員会報告・交流テーマ

4月4日(木)	埼玉県のこども貧困対策学習と会員生協の取 り組み交流				
5月30日(木)	会員生協の年間の学習会・研修会計画の交 流、県連計画との連関を考える				
8月22日(木)	新メンバー、アイズブレイク、				
10月17日(木)	上期の活動まとめ報告と交流				
12月12日(木)					
2月14日(金)					
4月16日(木)					

埼玉県生協連 2019 年度上期まとめ

埼玉県生活協同組合連合会
専務理事 吉川 尚彦

（前略）

2019 年度は、①核兵器廃絶・平和・憲法の学習、②子どもの貧困や生活困窮者への支援、③消費者被害防止などについて、年間を通しての重点課題として、SDGs の目標達成に向けて取り組んでいきます。

（後略）

- 3つの重点課題については、年度計画に基づいて取り組みを行いました。実施した内容と下期課題は、各分野の活動に記述します。
- SDGs の認知を広げるために、広報誌「さいたまの生協」にアイコンを付けて発行するなど、見える化を進めました。

【2019 年度事業計画】

I. 各分野の活動

会員生協との共通認識づくりを大切にしながら、年間計画の中で活動委員会や役職員研修会や組合員活動交流会を組み立て、学習や交流、社会への発信や他団体との連携を進めていきます。また、分野ごとの職員担当者会議を定期的開催します。

（年度計画に沿って進めています。実施した内容は各分野の活動に記述します）

1. 食の安全の取り組み（埼玉消団連としての活動も含めて）

(1) 食品の安全性確保の取り組みを強めます。

① 埼玉県・さいたま市・川越市・越谷市・川口市の食品衛生監視指導計画の充実を県行政に求めます。

(2) 埼玉消団連と連携しながら、リスクコミュニケーションを活発に行い、組合員の要望を埼玉県食の安全・安心条例に反映できるよう、意見交換をおこないます。

① 「埼玉県食の安全県民会議」に参加し、県行政に消費者の意見を届けます。

② 埼玉県食品安全局と消費者団体との懇談会を開催します。

③ 関東農政局と消費者団体との意見交換会を定期的開催します。

(3) 食品表示一元化に伴う新たな制度など必要な情報発信に取り組みます。

① 食品表示について学習の機会をつくります。

- 消費者大会実行委員会として、とくに中核都市（川越・越谷・川口）の監視指導については、体制を確保して進めるよう要請しました。
- 埼玉県食の安全県民会議に代わる「埼玉県食の安全推進委員会」に消費者代表委員 2 人を推薦しました。

2. 福祉の取り組み

- (1) 助け合いや居場所づくりなどの地域への関わりを強めます。
 - ① 2015年におこなった「新しい総合事業検討会」での確認事項にもとづき、会員生協間の情報交換の継続、必要に応じた自治体レベルでの話し合いの場づくりなど、引き続き、埼玉県生協連として役割を果たします。
 - ② 会員生協の助け合い活動に関わる組合員を対象とする交流会を継続して開催し、生協の垣根を越えた地域でのつながりづくりをおこないます。
 - ③ 住み慣れた地域で安心してくらしていける地域づくりのために、会員生協がおこなっている居場所づくりや見守りの取り組みなどを把握するとともに、交流の場づくりをおこないます。
 - (2) 世代を問わず貧困と格差が広がっている中、貧困をはじめとする子どもの問題を社会問題ととらえ、学び考えるとりくみ「子どもの未来アクション」と「子どもの未来アンバサダー」の育成や活用を会員生協に呼びかけるとともに、埼玉県行政（こども応援ネットワーク埼玉など）とも連携をとり、県内各地に広がっていきます。また、子どもの貧困にかかわるさまざまな団体との連携やネットワークづくりにも協力していきます。
 - (3) フードドライブなど会員生協と連携して取り組み、フードバンクにおける組合員による仕分けボランティア参加を促進するなど、フードバンク埼玉の運営委員会・事務局の一員として取り組みに積極的に関わり、円滑な運営に協力します。
 - (4) 埼玉県ユニセフ協会の役員として会長理事が関わるとともに、ユニセフの取り組みについて、会員生協に情報を提供します。
 - (5) 高齢化が進む中、消費者安全法の一部改定の下、地域での見守りネットワークなどの取り組みも広がっています。社会保障給付と国民負担、国民皆年金・医療保険制度・介護保険制度、消費税、格差問題、貧困問題、現役世代支援などについて学習し、消費者として発信していきます。
- 7/3 第1回組合員学習会には4生協72人が参加し、子どもの貧困や生活困窮者への支援などについて学び、今後の活動につなげることを目的に、各生協や各団体からの報告、埼玉県のこども応援の取り組みなどを共有し、グループごとに共有しました。
 - 県連として埼玉県が呼びかける「こども応援ネットワーク埼玉」に登録し、取り組みへの参加や告知などに協力しました。
 - NPO 法人フードバンク埼玉の事務局会に参加し、イベント出展時や大学生の研修受け入れの際の講師派遣などに協力しました。

3. 環境・エネルギーの取り組み

- (1) 省エネルギーと再生可能エネルギーを県との学習懇談なども含め推進していきます。会員生協の環境負荷軽減や新電力事業の取り組みを交流します。また、会員生協とともに埼玉県がおこなう「家庭の省エネ推進事業」に取り組みます。
- (2) 原発に頼らない社会をめざす取り組み、一極集中発電の問題など幅広く捉えて取り組みます。また、地球温暖化防止や環境問題に取り組む県内のさまざまな個人・団体との連携を大切にします。

- 埼玉県が新たに立ち上げた「埼玉県食品ロス削減ネットワーク会議」、「埼玉県プラスチック問題対策協議会」に消費者代表委員各 1 人を推薦しました。

4. 消費者被害防止などのための消費者行政充実の取り組み

- (1) 消費者行政充実埼玉会議や消費者団体と協力して、消費者行政充実埼玉会議の事務局機能を担い、見守り推進員からの情報も活用し、埼玉県と市町村の消費者行政の充実に向け、役割を発揮できるようにしていきます。
- (2) 市町村消費生活関連事業調査をもとに、各行政と地域の消費者団体との懇談の場に積極的に参加していきます。
- (3) 市町村ごとの消費者安全確保地域協議会をはじめとする地域の見守りネットワーク構築などに、消費者としての役割を発揮していきます。消費者教育推進法に基づく取り組みも継続していきます。
- (4) 「消費者裁判手続特例法」の成立を受け、全国の特定適格消費者団体や適格消費者団体の動きや集団的消費者被害回復の制度自体について学習していきます。
- (5) 消費者行政関連予算について学習し、充実に向けて取り組みを展開します。

- 消費者被害防止の取り組みでは、

- ① 消費者被害防止サポーターの確保と養成を進めました。9 月末時点で 800 人を超えて登録が進み、フォローアップ研修を継続して行っています。
- ② サポーターが啓発活動など地域で行動するために、市町村職員の研修会への参加促進、市町村を訪問して働きかけを行うなどの取り組みを進め、サポーターと市町村との連携を広げました。
- ③ 地域の見守りネットワークでは、「消費者安全確保地域協議会」の設置に向けて市町村への働きかけを行ってきました。地域協議会を単独で設置するだけでなく、地域包括ケアシステムなど福祉課題での地域協議会に消費者課題も盛り込むなど、市町村の状況にあわせた提案を行ってきました。
- ④ 適格消費者団体による差止請求（2 件）差止訴訟（1 件）に取り組みしました。被害回復の取り組みは未着手となっています。

- 消費者大会実行委員会として、今年 21 回目となる県内市町村消費生活関連事業調査に取り組み、全市町村から回答をいただきました。

- 適格消費者団体と協力して、キャッシュレス決済などの学習会を開催しました。

5. 平和の取り組み

- (1) 埼玉県内での平和の取り組み、核兵器廃絶の取り組みなどをおこないます。
 - ① 平和・市民5団体懇談会（しらさぎ会・県婦連・原水協・平和運動センター・県生協連）での協同をすすめます。
 - ② 日本生協連のヒロシマ・ナガサキでのピースアクションに参加します。
 - ③ 「被爆者が訴える核兵器廃絶に向けた国際署名」に、日本被団協などが呼びかけるヒパクシャ国際署名埼玉連絡会の一員として取り組みます。
 - ④ 2020年 NPT 再検討会議に向けた取り組みを展開していきます。
- (2) 埼玉県原爆被害者協議会（しらさぎ会）の活動を支援していきます。

- ① 「埼玉県原爆死没者慰霊式」については、実行委員会をより多くの団体で開催できるように支援を強め、準備・広報・渉外活動を、しらさぎ会を含む平和・市民5団体とともに積極的に関わります。
 - ② 被爆体験の継承活動として、聞き書きやヒロシマ・ナガサキを語り受け継ぐ取り組みを継続します。しらさぎ会の活動（慰霊式や被爆体験を聞く活動）の紹介を会員生協に継続して行います。
 - (3) 多くの生協組合員に「平和のための埼玉の戦争展」への参加をよびかけます。
 - (4) 平和とよりよい生活をめざして、活動委員会のなかに、平和の取り組みの情報交換などを組み入れます。平和に関する法制度や憲法に関する学習を広げます。
- 平和・市民5団体懇談会を4回開催し、県内での平和活動の取り組みについて意見交換を行いました。
 - 7月27～29日「2019 平和のための埼玉の戦争展(同実行委員会主催)」が浦和コルソホールで行われました。なお、開催にあたっては会員生協の皆さんが、分担金協力、会場設営スタッフ、受付スタッフとして運営を支えました。
 - 7月28日、「第34回埼玉県原爆死没者慰霊式(主催・埼玉県原爆被害者協議会、協力・同実行委員会)」を開催しました。埼玉県内原爆死没者名簿には今年度あらたに88人が記載され、1,617人の名簿が奉納されました。
 - 2019 ピースアクション in ヒロシマ・ナガサキへ埼玉県生協連職員を派遣しました。現地で開催された虹のひろばに参加し、全国の取り組みを学びました。
 - NPT 再検討会議への被爆者の参加支援を目的に、県生協連として5万円を寄付しました。

6. 協同組合間提携の取り組み

- (1) 地域での連携を積極的に進めます。
 - ① 「日本協同組合連携機構(JCA)」の発足を受け、さらに、生協間・JAなど県内協同組合・県内諸団体と連携をさらにすすめます。県内の各組織について「お互いを知る」学習を深めます。
 - ② 「体験稲刈り&田んぼの生きもの調査」をJA全農さいたまと連携して開催します。また、JA埼玉県女性組織協議会との交流、彩の国食と農林業ドリームフェスタへの参加を継続します。
 - ③ ワーカーズコープなどと「埼玉協同・連帯ネットワーク」の場での連携を継続していきます。
 - ④ 協同組合間提携推進協議会を継続しつつ、今後のあり方について検討・協議を続けます。
 - ⑤ 役職員対象の研修参加、共済事業の情報交換などをすすめます。
- (2) 復興支援の取り組みを継続します。
 - ⑤ 福島県生協連と連携し、「コヨット in 埼玉」(福島の子ども保養プロジェクト)を昨年に続き実施します。
 - ⑥ 情報を共有し、生協間の連携や他団体も含めたネットワークづくりをすすめます。
- (3) 各会員生協の「健康づくり」の取り組みについて交流していきます。

- 協同組合間提携推進協議会として、「体験稲刈り&田んぼの生きもの調査」に取

り組み、生協組合員 16 家族 56 人が参加しました。また、JA 組合員の担い手を育成することを目的とした TAC(タック)の審査会に審査委員として協力しました。

- 「2019 コヨット in 埼玉」を 9 月 14 ・ 15 日の 2 日間で開催し、13 組 30 人が参加しました。ムーミンバレーパークや鉄道博物館の見学、埼玉県ユニセフ協会による「貿易ゲーム」、ボーイスカウト埼玉県連盟によるバス内での「ゲーム・クイズ」など、参加者からも好評でした。
- これまで医療生協さいたまが取り組んできた「ヘルスチャレンジ」を、今年度は医療生協さいたまと埼玉県生協連の共催で実施しています。会員生協への参加の呼びかけや取り組み内容の交流、JA など各団体への情報提供を行いました。

7. 防災・減災の取り組み

- (1) 災害支援ボランティア関係団体情報交換会に参加します。また、行政機関や専門家団体、ボランティア団体等を含む広範な連絡協議の場の設置に協力し、役割を果たします。
 - ① 県連災害対策委員会を開催し、災害時における共同の取り組みの検討をすすめます。
 - ② 「地震等大規模災害対策書」は、全国の事例に学び教訓を踏まえ、見直します。
 - ③ 九都県市合同防災訓練などに参加し、行政や他団体との連携を強めます。
- 第 1 回災害対策委員会を開催し、主に九都県市総合防災訓練への参加について協議しました。
- 九都県市合同防災訓練は 8 月 31 日和光市で開催され、防災フェアに 7 生協が出展参加しました。参加内容は、①防災クイズ、②応急生活物資配布訓練（飲料・お菓子・ウエットティッシュ）、③握力チェックで、多くの参加者に喜ばれました。
- 埼玉県災害ボランティア団体ネットワーク「彩の国会議」に参加し、情報共有を行いました。

Ⅱ. 生協の認知度を高めるための取り組み

1. 広報活動

広報の発信のあり方について、「会員向け」「社会向け」の視点で整理し、充実させていきます。

- (1) 毎月発行の『情報』、四半期毎の『写真ニュース』、年1回の『さいたまの生協』や『埼玉新聞広告企画』などを通して、社会発信をおこないます。
 - (2) 会員生協の政策と経験の交流の場を設定します。
 - (3) 県生協連のホームページで、会員生協への情報提供と頻繁な情報更新につとめます。
 - (4) マスコミリリースについて、年間計画を作成し、発信を強化します。
- 「県連情報」は記事掲載期間を毎月 1 日～月末に変更し、翌月 5 日頃発行としました。
 - 「写真ニュース」（春号、夏号）および広報紙「さいたまの生協」を発行し、渉外活動等にも活用しました。
 - ホームページはプチリニューアルの準備を行いました。
 - マスコミリリースは消団連・適格消費者団体含め、9 件、掲載は 17 件でした。

2. 渉外活動

- (1) 埼玉県行政との定期協議を年2回（目安：7月・2月）開催します。「2019年度埼玉県の予算と執行に関する」要望書を7月に提出します。また、県の各種委員会に積極的に参加し、役割を果たします。
 - (2) 県議会との関係では、県議会全会派との懇談会を継続して実施するとともに、定期的な訪問をおこない、政策提言や要請活動をすすめます。
 - (3) マスコミ支局長会との懇談の場を継続するとともに、定期的な訪問をおこないます。
 - (4) 生協の現状を知っていただく機会として、埼玉県行政や県議会を対象に生協施設見学の実施を検討します。
- 7月31日、2019年度第1回埼玉県と埼玉県生協連定期協議を行いました。2020年度埼玉県予算編成ならびに行政執行に関する要望を提出したほか、埼玉県からは今年度の生協検査などに関する発言がありました。
 - 県議会3会派が実施した2020年度埼玉県予算編成ならびに行政執行に関する要望のヒヤリングに参加しました。

Ⅲ. 埼玉県消費者団体連絡会とNPO法人埼玉消費者被害をなくす会の事務局機能の取り組み

1. 消費者力を高めるための県内の消費者団体との連携強化

- (1) 埼玉県消費者団体連絡会（以下、埼玉消団連）の活動が一層発展するように事務局機能を引き続き担います。
 - (2) 県内の多くの消費者団体の埼玉県消費者大会実行委員会への参加をめざし、第55回埼玉県消費者大会（10月10日開催予定）を成功させます。
 - (3) 埼玉消団連とともに、県内消費者団体研修会を開催し、多くの消費者団体が一緒に学習し共通するテーマ（地域の見守りネットワーク、消費者被害防止、生活困窮者支援、消費者教育推進法、各行政と消費者団体との懇談など）で取り組みをすすめます。
 - (4) 市町村消費者団体との交流と連携を強めます。
- 3月に開催した今後の消費者大会の開催・運営などについて話し合う懇談会での意見を踏まえて、第55回埼玉県消費者大会実行委員会は25の消費者団体の参加で結成しました。新たに、地域団体から2人の副実行委員長を加えて、正副委員長4人での打合せを開催し、実行委員会を進めました。
 - 埼玉県消費者団体連絡会は、埼玉県委託事業の県内消費者団体全体研修会を8月に開催、「コミュニケーションスキルアップ」講座として16団体66人と初めて公募した一般参加16人、計82人の参加でグループワークしました。午後の消費者団体の活動交流も48人が6グループに分かれて報告・交流しました。

2. NPO法人埼玉消費者被害をなくす会の活動を支援発展させる事務局機能

- (1) NPO法人埼玉消費者被害をなくす会（以下、なくす会）の活動が一層発展するように、事務局機能を引き続き担います。
- (2) 会員生協になくす会の運営を支えるために、会費口数増や個人賛助会員の拡大について、支援・

協力を呼びかけます。

- (3) なくす会の会員増加の取り組みを支え、財政基盤の確立をめざします。なくす会の受託事業の継続に伴い、応分の負担と会計管理を強めます。
 - (4) 不当契約や不当表示などのチェック活動をともにすすめ、差止請求訴訟を含めた活動の支援を行います。
 - (5) なくす会活動委員会の自立ある活動への援助を強めます。
 - (6) なくす会のホームページとニュースレターによる情報提供を支援します。
 - (7) 埼玉県からの3つの受託事業「消費者被害防止サポーター活動推進事業」「高齢者等見守り促進事業」「インターネット適正広告推進事業」の取り組みを全面的に支援します。
- 県連正規職員 1 人がほぼ専任の役割として、適格消費者団体の活動と運営をサポートしました。
 - 会計の管理については NPO 法人会計を学習し、事業費と運営費の区分等見直しました。

2019年度下期課題

*斜体は、実施は下期で実施済の内容です

1. はじめに

- 2019年事業計画をふまえ、引き続き3つの重点課題に取り組みます。
- *SDGs*については、消費者大会の基調に据えて、組合員・消費者の理解を促進しました。下期も、生協の取り組みと関連させてSDGsを取り上げ、認知を広げます。

2. 機関・組織運営、次年度に向けた準備について

- (1) 委員会（部会）については会員の関心・要望を受けて、内容を検討し開催します。また、分野ごとの担当者会議については、活動委員会での会員からのニーズを受けて、必要に応じて検討します。
- (2) 埼玉県指導検査に備えます。あわせて埼玉県生協連規程類の見直しについては、1月理事会で提案し、3月理事会で確定する流れとします。
- (3) 2020年事業計画については1月理事会で素案を報告し、3月理事会で審議、5月理事会で議決する流れで組み立てます。

3. 各分野の活動

(1) 食・食育に関する取り組み

- 消費者大会では食の分科会を設け、安全な食品を考える機会をつくりました。
- 消団連として、食品表示・豚コレラ（「CSF」=Classical Swine Fever）など組合員・消費者の関心のあるテーマについて、埼玉県食品安全局との懇談会を実施します（1月30日）。
- 消団連と関東農政局との意見交換会を、ゲノム編集食品などをテーマに行います（3月頃）。
- 2020年度の埼玉県・政令市・中核都市の食品衛生指導監視計画についての要望書を準備します。

(2) 福祉や助け合い活動、健康づくりに関する取り組み

- 3都県連主催（東京・千葉・埼玉）としては初めてとなる公開学習会を、福祉事業をテーマに開催しました。また、埼玉県委託事業・役職員研修として、福祉事業の今後を考える学習会を開催しました。
- 助け合い活動交流会を開催します（1月17日）。各生協での活動の広がりを受けて、取り組み事例の交流と各生協の仕組みを共有し、今後の活動に活かします。
- 貧困・格差問題では、3月組合員学習会のテーマとして準備します。
- 健康づくりについては医療生協さいたまと共催し、ヘルスチャレンジの取り組みを継続します。次年度に向けて、各生協、他の協同組合や協同組織の参加が広げられるよう計画づくりを進めます。

(3) 環境・エネルギーに関する取り組み

- 消費者大会の環境分科会では「No！マイクロプラスチック～埼玉県民が海を救う～」と題して、（一社）JEANの小島あずささんを助言者に迎え、プラスチックごみの現状や埼玉県の取り組みなどを学び、自分ごととして何ができるかなど考え、交流しました。

- 埼玉県の次期地球温暖化対策実行計画大綱（案）が審議されています。生協における再生エネルギーの供給など温暖化防止の取り組みやプラスチック削減の取り組みについて、県の審議会や委員会の場で発信します。
- 埼玉エコ・リサイクル連絡会主催の交流集会（2月22日）に参加します。
- さよなら原発埼玉県民集会を実行委員会として開催しました。また、同日に、再生可能エネルギー・脱原発・福島避難者との交流などに取り組んでいる団体との交流会（昨年に続き2回目）を行い、地域での電力供給など交流し、好評でした。次年度の開催と持ち方について実行委員会で検討します。

（4）消費者課題に関する取り組み

- 組合員・消費者の関心の高いキャッシュレス決済に関する学習会を継続して開催します。
- 県内市町村消費生活関連事業調査を冊子にまとめ、各自治体、関係団体、地域の消費者団体に配布し、地域での活用を促します。また、調査結果をふまえ、重点自治体と懇談を計画します（4市程度）。
- 消費者被害防止に向けて、被害防止サポーターと市町村が連携した啓発活動・見守り活動、消費者安全確保地域協議会を設置する自治体を拡大（2019年度目標は30市）することが重点課題です。連携事例集（仮称）を作成し、関係団体と共有して活動を促進します。
- 県内消費者団体地区別交流会を4会場で開催します（1月～2月）。今年の学習テーマはプラスチックごみの削減です。
- 地方消費者行政の充実に向けて役割を担ってきた「消費者行政充実埼玉会議」は、2017年度から未開催となっており、今後のあり方について協議を進めます。
- 消費者契約法の改正に向けた意見募集（パブコメ）に対して、埼玉県生協連専務理事名で意見を提出しました。

（5）平和に関する取り組み

- NPT 再検討会議に向けてヒバクシャ国際署名をさらに広げるために、連絡会での交流と意見交換を継続します。ヒバクシャの高齢化が進む中、「ヒバクシャと出会うカフェ」に各団体に取り組めるよう支援します。

（6）防災・減災に関する取り組み

- 年2回開催予定の災害対策委員会は、この間の災害の頻発を受けて、今年度は3回行う方向で進めます。
- 県連災害対策書については、台風や豪雪など進行型の災害への対応も視野に入れ、中央地連「災害時広域連携プログラム」に基づき、とくに初動段階で県連の役割が担えるよう見直しを準備します（いったん3月見直し予定）。

4. 生協の認知度を高める取り組み

（1）広報活動

- 県連写真ニュース秋号・冬号を発行します（1月）。また、県連情報については、次年度に向けて、紙媒体からPDF配信に変更するなどの検討を進めます。
- ホームページは、①開催案内と開催報告とお知らせがわかりやすく伝わる、②会員生協専用ページの新設（一般非公開で、会議資料、報告文書、年間日程表、各種フォーマットを掲載予定）などを目的にプチリニューアルを行います。
- マスコミリリースは生協の取り組みとSDGsの関連をテーマに埼玉新聞に広告を掲載します（3月）。また、マスコミ支局長との懇談会は常務理事会メンバーで同様のテーマで行います（日程は次年度春に延期）。会員生協の施設見学については、

引き続き機会を捉えて働きかけを行います。

(2) 渉外活動

- 生協への理解促進と、意見交換を行う場として、県議会各会派と懇談会を実施します（12月）。
- 新春賀詞交換会を開催し、会員生協と行政、議会、マスコミ、県内諸団体との関係づくりにつなげます。

5. 行政、協同組合間連携、協同組織とのネットワークづくりの取り組み

- 2020年度の埼玉県から適格消費者団体への委託事業の受託内容について協議を行います。
- 埼玉県消費者大会の埼玉県への要請書に基づいて、埼玉県との懇談会を実施します（11月28日）。また、次年度の大会の大枠の持ち方について、今年度最後の実行委員会で協議します。
- 協同組合間提携推進協議会の取り組みの一環として、ドリームフェスタに会員生協といっしょに出展します（11月。テーマはSDGs）。また、提携推進協議会代表者会議（12月）、JA女性協議会と会員生協組合員リーダー層との交流を目的とした「早春交流会」を開催します（2月12日）。
- 平和・市民5団体事務局として、ヒバクシャ国際署名、次年度の原爆死没者慰霊式などの協議を進めます。
- フードバンク埼玉の財政強化に向け、個人会員を増やす取り組みなどについて協議を進めます。
- 埼玉労福協が実施している埼玉県知事要請に、生協としての要望を盛り込み、県との懇談会に参加しました。

埼玉県生協連 2019 年度助け合い活動交流会の実施について

2019 年 10 月 17 日 埼玉県生協連

11 月 14 日加筆

1. 提案の主旨

埼玉県生協連の各生協の福祉助け合い活動、または生協と関わりを持ちながら福祉助け合い活動を行っている団体の担い手を対象とした交流会を開催します。

2. 提案の概要

日時	2020 年 1 月 17 日 (金) 10 時 30 分～14 時 30 分 (12 時半目安に昼食)
会場	さいたま市浦和コミュニティセンター 第 15 集会室
テーマ	県内で行われている助け合いの活動について、相互理解を更にすすめ、生協の枠を越えた豊かな地域づくりについて考えます。
内容	①報告「助け合い活動事例」(各生協より) 「助け合い活動のしくみ」(各生協職員より) ②地域ごとのグループで活動交流
対象	助け合い活動の援助の調整をおこなっている方 (コーディネーター層) 活動に関わっている組合員理事や役職員
定員	60 人

3. 提案の補足

- (1) 2017 年から行ってきた埼玉県生協連「助け合い活動交流会」では、活動の共有、地域での連携には、継続した活動交流の機会が重要であることを確認してきました。
- (2) 今回は地域社会の現状を学ぶとともに、生協の枠を越えてつながり、豊かな地域づくりを実践していくための交流会とします。
- (3) 2019 年度の活動についての報告を中心に、各生協・団体に報告したいことをまとめた資料のご準備をお願いします。報告についてはグループごとの交流で使用することを基本とし、全体での報告については、それぞれの助け合い活動のしくみがわかる資料をお願いします。なお、報告資料については、1 月 10 日を目安に、事前に埼玉県生協連事務局に事前にお送りください。
- (4) グループの交流では、できる限り同じ地域の方が同じグループで交流できるようにしたいと思っています。活動範囲としている地域全域からご参加いただけるように、お声掛けをお願いします。
- (5) 当日の会場までの交通費については、各会員生協でご負担ください。昼食については、埼玉県生協連でご用意します。
- (6) 12 月 20 日 (金) までに、県連事務局清水桂に参加者をお知らせください。
(お名前のほか、役割と主な活動地域をお知らせください)

第 55 回埼玉県消費者大会

10 月 10 日 (木) 10 時 30 分～ 埼玉会館

第 7 回実行委員会報告

第 7 号 (11 月 28 日発行)

実行委員会事務局 (県生協連内)

電話 048-844-8971

Fax 048-844-8973

Mail: shodanren@saitama-k.com

開催日時 2019 年 11 月 28 日 (木)

10 時 30 分～12 時

開催場所 埼玉教育会館 104 会議室

【議題】

1. 第 55 回埼玉県消費者大会

- (1) 報告集の確認と活用について事務局から提案し、修正は 12 月 10 日まで、必要数については 12 月 15 日までに連絡いただくこととしました
- (2) アンケート集計結果・・・確認しました
- (3) 大会決算状況報告 (11/27 時点)・・・記念講演の謝金と映画上映がなかったことで、予算と乖離していることを報告しました
- (4) 団体からの意見をもとにふりかえり・・・チラシの配布がもっと早い方がよかった/参加者を増やすには実行委員団体以外にいかに来てもらうか/各団体高齢化が進んでいる中で、若い世代がいる実行委員会団体に、自分たちがやりたいことをやってもらって力を発揮してもらったり、成長してもらったりということを考えなければいけない時期にきているのでは/根本さんにお話しただけでよかった等々。
また、冊子に掲載した「埼玉県消費者大会について」、来年からは、実行委員会が確認したものとして、大会冊子の前のほうに掲載することを確認。
- (5) 大会冊子および市町村における消費生活関連事業調査について、各団体必要部数を 12 月 15 日までに知らせてもらうこととしました。

2. 第 56 回埼玉県消費者大会に向けたすすめ方について

- (1) 運営体制について話し合い、実行委員長は埼玉母親大会連絡会、副実行委員長は新日本婦人の会埼玉県本部、さらに今年は、副実行委員長に地域団体から上尾市消費者団体連絡会と 3 人で構成することになりました。
今後、副委員長については、地域団体から 1 ないし 2 人、名簿の順番を基本に、団体の事情も考慮しながら担っていただくことになりました。さらに地域団体からだけでなく、生協からも副委員長を出してもらったらという意見もあり、いったん持ち帰ることとしました。
- (2) 実行委員会のよびかけとスタートについて、例年より 1 カ月前倒しし、2 月に実行委員会よびかけ、3 月から実行委員会スタートとすることを確認しました。
全体会の記念講演の希望など、意見があれば早めに連絡してもらうようお願いしました。

3. 埼玉県との懇談のすすめ方

- (1) 次第、発言者等、すすめ方を確認しました。

4. ご案内関係

- (1) 県内消費者団体地区別研修会を案内し、参加をよびかけました。

2019 年度

第 1 次ご案内

県内消費者団体地区別研修会



この間、埼玉県委託事業として、年間 2 回の県内消費者団体の研修会をおこなってきました。今年も、県内 4 会場で研修会をおこないます。消費者大会環境分科会でも学んだプラスチック問題の現状を学び、今私たちがしなければいけないことを考えます。また、各団体の取り組みを交流し、今後の活動に活かしていただけるようにします。多くの皆さんの参加をお待ちしております。

研修 講演

13 時 30 分～15 時 20 分

プラスチックごみの現状を学ぶ

～持続可能な社会をこどもたちに～（仮）

講師：（一社）JEAN 小島あずささん

吉野美子さん

（一社）JEAN は、漂着ごみ・散乱ごみの調査やクリーンアップを通じて海や川の環境保全を行っている非営利の環境 NGO です

15 時 25 分～16 時 活動交流

会場は 4 会場です お近くの会場にご参加ください

各会場とも、13 時受付開始、13 時 30 分～16 時までの開催です

1 月 20 日（月）

熊谷会場

熊谷市男女共同参
画推進センター

1 月 28 日（火）

春日部会場

コープみらい コー
ププラザ春日部

2 月 7 日（金）

上尾会場

東武ハンケットホ
ール上尾

2 月 10 日（月）

川越会場

東上パールビルヂ
ング

※お申込・お問い合わせ 埼玉県消費者団体連絡会 事務局 清水桂（9 時～17 時 土日祝休）

電話 048-844-8971 FAX 048-844-8973

会場案内図

熊谷会場 熊谷市男女共同参画推進センター・ハートピア 会議室

熊谷市筑波 3 丁目 202 番地
ティアラ 21 4 階



川越会場

東上パールビルディング

JR・東武東上線川越駅西口から徒歩約1分西口歩行者用デッキ手前階段を降り、右側へ。横断歩道を渡った三井生命ビル（1階が三越）の隣のビル（1階が武蔵野銀行）



上尾会場 東武バンケットホール上尾

埼玉県上尾市宮本町 2-1

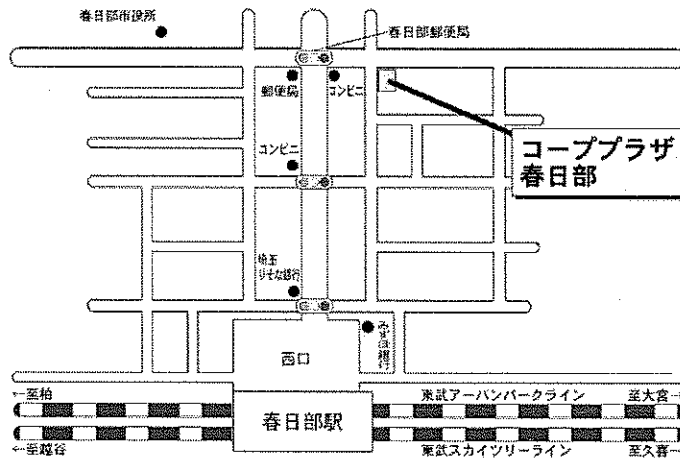
アリコベールサロン館4階

JR 高崎線上尾駅東口徒歩 1 分



春日部会場 コープみらい コーププラザ春日部

東武春日部駅下車 西口より徒歩7分



第 25 回 JA 埼玉県女性組織協議会との早春交流会について（2 次案）

2019 年 9 月 12 日 埼玉県生協連
11 月 14 日加筆修正

1. 提案の趣旨

- (1) JA 埼玉県女性組織協議会との交流会は、男女共同参画の推進、協同組合間交流を目的に、1996 年から実施され今年で第 25 回を迎えます。
- (2) 2015 年までは埼玉県生協ネットワーク協議会メンバーを中心に交流をおこなってきましたが、協議会の終了にあわせ埼玉県生協連で調整・企画をおこないます。
- (3) 早春交流会の実施にあたっては、隔年で JA と生協連が幹事を分担して、すすめています。今年度は、埼玉県生協連が幹事として、企画・運営をすすめます。

2. 実施概要

日時	2020 年 2 月 12 日（水）10 時 30 分～14 時 30 分
会場	こくみん共済 coop<全労済>埼玉推進本部 2 階会議室 さいたま市中央区下落合 1050-1 JR 京浜東北線「与野」駅西口 徒歩 1 分
内容	午前：女性の視点を持って減災・防災について考える（仮） * ワークショップ形式 講師：減災と男女共同参画 研修推進センターに依頼 NPO 法人 全国女性会館協議会 常任理事 坂田静香さん 午後：午前の学習を踏まえて、地域での防災・減災にかかわる取り組み交流 地域での活動交流

3. 参加対象・人数

(1) 参加対象

埼玉県生協連：組合員理事をはじめ、地域で組合員活動をサポートされている方

(2) 人数

- JA 埼玉県女性組織協議会：
- 埼玉県生協連からの参加は最大 25 人とします。
- 各生協より 1 人以上、できれば 5～6 人（コープみらいは除く）の参加をご検討ください。
- 各生協の参加人数については、参加の状況を確認しながら、各生協と事務局で調整させていただきます。

4. 参加集約

2020 年 1 月 24 日（金）までに、事務局清水桂に参加者をお知らせください。

5. 各生協・参加者へのお願い・その他

- (1) 午後の活動報告では、各団体の活動を交流します。交流で配布できる機関紙・情報紙などありましたら 10 部（～50 部）お持ちください。
- (2) 昼食については、埼玉県生協連で用意いたします。弁当の準備・昼食費用の負担は必要ありません。

福祉事業公開学習会 開催報告

日時 2019年10月11日(金)

10:00~12:00

会場：コープ共済プラザ7階
会議室

参加：合計33名

(東京都連13名、
埼玉県連4名、
千葉県連16名)

プログラム

10:00~ 開会あいさつ

10:05~ 講演『住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続ける為に、生協が取り組むべき福祉事業（介護・生活支援事業）について考える』

11:45~ 質疑応答

12:00~ 閉会あいさつ

開会あいさつ

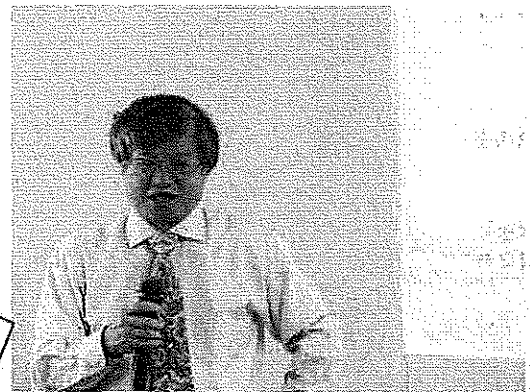
本日は東京都生協連、埼玉県生協連、千葉県生協連の3つの県を越えた共催として実現できました。生協としてどのような福祉事業ができるのか、生協が取り組むべき福祉事業についてお互いの垣根を越えて考えていきたいと思えます。人口減少、経済の縮小という社会現象に対して生協の役割を一緒に考えたいと思えます。今回は全国の先進事例を学び、今後に向けたステップの場となれば幸いです。



生活クラブ塙部長

1. 講演（第一部）

第一部は協同福祉会（あすなら苑）について開設までの経緯、沿革、事業概要についての説明があった。協同福祉会はならコープ（生協）を母体として設立された法人であること、居宅介護支援事業を始め様々な事業を行っていることの説明があった。これからの医療と介護をめぐる動きとして国は「医療から介護へ」「施設から在宅へ」と進めているので地域での「助け合い、支え合い」が重要になる。そのために「地域包括ケアシステム」を構築し、在宅（地域）でケア（看取りまで）の仕組みを作ろうとしている。

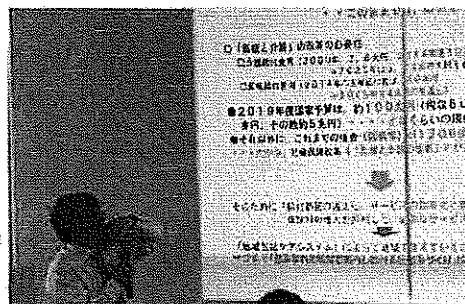


協同福祉会 村城理事長

2. 講演（第二部 協同福祉会の取り組み）

地域包括ケアシステムのモデルづくりを目指して地域の高齢者を支える仕組みとして「あすなら安心システム」を進めている。「あすなら安心システム」は2つあり、要介護者を対象とした「安心ケアシステム」、元気な人から要支援者を対象にした「安心支援システム」となっている。

「安心ケアシステム」は要介護1～5の利用者が自宅で暮らせるシステムで具体的には①定期巡回・随時対応型訪問・介護看護 ②1日3回以上のテレビ電話安否確認 ③退院調整の訪問看護になる。「安心支援システム」は元気な75歳以上の方を対象としたシステムで具体的には④あすならサロン ⑤つながり連絡員制度 ⑥買い物バスになる。



講演の様子

3. 講演（第三部 これからの福祉事業と展望について考える）

日本は「少子高齢化」による人口減少社会となっていることは明らかで、人口減少社会は生協の事業にも深刻な影響を与える。また、セイフティネットの崩壊と新しい貧困の増加が予測され「新自由主義」のもとで、国民一人一人の福祉の充実は見えない状況にある。このような状況の中で生協の活動に何が求められているのかを考えることが重要である。生協の福祉事業に期待する人たちは多かったが、それほど広がっていないのが現状である。日本の生協運動が果たしてきた役割と課題を考え、生協にとって福祉事業は、将来性と展望のある事業であることを認識することが重要である。



質疑応答

開会あいさつ

本日の講演を聴いて、福祉事業に関してはすぐに取り掛からなければいけない課題であり、猶予がないと感じました。本日、参加された方はそれぞれの生協に戻って単協の中で共有して頂きたいと思います。千葉県生協連、東京都生協連、埼玉県生協連の3つの都県連で学習会の企画を共催したのは初めてでしたが、次年度に向けて検討したいと思います。また、要望等があれば声をお寄せください。



埼玉県生協連
吉川会長

2019 年度第 2 回災害対策委員会開催報告

1. 開催概要

- (1) 日時・会場 : 2019 年 10 月 31 日 (木) 10:00~11:30・埼玉県生協連会議室
 - (2) 参加者: 笹沼文晴 (コープデリ連合会)、岡直政 (コープみらい)、堀籠克衛・石井比利 (パルシステム埼玉)、原雅典 (生活クラブ生協)、村田比呂嗣 (労済生協)、桜井博孝 (コープデリ連合会)、保土田毅 (医療生協さいたま)、吉川尚彦・加藤一彦・清水勤 (埼玉県生協連)
- ※下線は欠席者

2. 内容 台風 19 号による被災状況と対応報告 (各生協からの報告を一部抜粋)

- (1) 各生協の対応報告書をもとに、会員生協同士で「初動」「困りごと」等について出し合いアドバイスや事例の共有を行いました。
 - ① コープみらい
自治体からの物資提供 (味噌汁・菓子パン・野菜ジュース等) の依頼が、坂戸市からあった。また、「協定を締結している自治体に、生協側から連絡すべきか」悩んだ。
 - ② パルシステム埼玉
パルシステム産直産地の被災地支援 (長野県) に、パルシステム連合会及び会員生協から 1 日あたり 24 名の人的支援を行った。
 - ③ 生活クラブ生協
台風 15 号と 19 号被災支援カンパに取り組んでいる。
 - ④ 医療生協さいたま
診療所の事務長が、民医連と連携した活動をニュースにしている。
 - ⑤ 埼玉県労働者共済生協
埼玉推進本部では、被災者対応を最優先事項として、職員を毎週水曜日から 1 週間交代で、通常業務から離れて現地調査を実施している。
 - ⑥ コープデリ連合会
台風 19 号が来る前に事務局体制を各会員生協が立ち上げた。11 日は全店舗臨時休業をした。13 日 8 時にグループ全体で安否確認をした。支援物資は、約 45,000 点を被災地に届けている。費用がないので無償で物資が欲しいという要請が複数の自治体からあった。
- (2) 災害対策書について
埼玉県と生協連との物資協定について、①何が届けられるのか、②県から要請がない中で市から要請があったわけだが、各生協と市との協定をどう考えたらいいか、③協定があるのに無償で物資を提供した事例が発生していることをどう考えたらいいかについて検討が必要になっている。また、県連の災害対策書の今後の見直しを進めることを口頭で説明。
- (3) 2019 年度九都県市合同防災訓練の振り返り
会場がいくつにもわかれていたので、来客人数が少なかった。

3. 確認事項

- (1) MCA 無線訓練については「組織名・名前」をはっきり相手側に伝えることを確認。
- (2) 今年度の委員会は 2 回を予定していたが、埼玉県から台風 19 号等の対応報告が可能なら、日程を調整して開催する。
- (3) 次年度の災害対策委員会については、埼玉県や社協等との懇談の場を設けるなど、開催回数や内容についての要望を各会員から県連に寄せていただく。

以上

2019 年度 役職員研修会報告

11 月 21 日 埼玉県生協連

1. 報告の趣旨

- (1) 役職員研修会は、生協の事業、組織運営等、重要な政策テーマについて学び、深めることを目的に開催しており、今年は「生協が『生涯を通じたお役立ち』をはたすために」と題して、生協福祉事業中長期戦略検討委員会の中間報告について学習しました。
- (2) 日時 2019 年 11 月 21 日（木）13 時 30 分～15 時 30 分
会場 浦和コミュニティセンター第 13 集会室 参加 7 生協 29 人（事務局含む）
講師 日本生協連福祉事業推進本部部長 山際淳さん
- (3) 組合員をはじめ、福祉事業に関わる職員、県内生協役員など、さまざまな立場で福祉事業の今後について学んだことで、連携して一緒に実現できることがあるのではとの感想も出されました。

2. 報告の内容

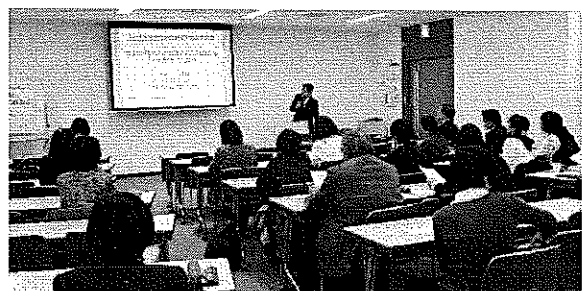
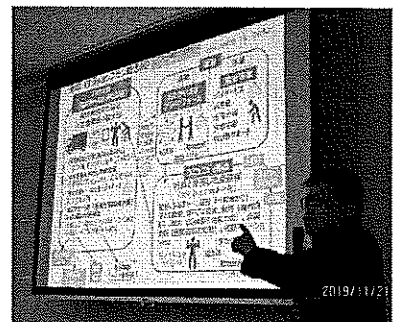
- (1) はじめに、常務理事の大山克己さんより、今回の役職員研修会の目的をお話ししました。
- (2) 「生協が『生涯を通じたお役立ち』をはたすために」について、講師の山際さんにお話しいただきました。
- (3) 質疑応答を行い、講演についての理解を深めました。

3. 参加者の感想

- ・ 介護保険事業がスタートするとき、購買と医療の協同について議論になりましたが、いよいよ時代は協同組合のあり方を求めているということでしょうか。超高齢社会への対応に力を出し合えないと事業としても成り立たないと思います。福井県の子どもサポーター、いいですね。
- ・ 多世代多文化の交流の場を地域にどう作っていくのか。福井の例のような。
- ・ 購買事業の利用層の変化についてはおさらいできた。生協のブランド化と介護サービスのブランド化をともに進めていくこと、黒字へのこだわり、経営管理の精度を上げることが生協に不足している。
- ・ 小規模多機能の事業の損益分岐点は参考になりました。
- ・ 人口減少の中で一つの場所にいろんな機能があるのがいいと聞いて、自分が何となく 1 か所にいろいろあったらいいなあとと思っているのが外れていないことだったんだと思えました。生協全体として、何がどのようにすすめられるのかは見えませんが、自分の置かれた場所で（草加）医療生協の組合員さんとはじめたサロンを継続して楽しく続けていきたいと思っています。（生活クラブ生協）
- ・ 改めて多分野の「生協」の「意義」と「連携」について考える機会となりました。

4. 今後に向けて

今回の役職員研修会を受けて、「生協が『生涯を通じたお役立ち』をはたすために」それぞれの立場で何ができるか、また県内生協が連携して何ができるかを考える場を持ち、このテーマを深めていくことを検討します。



第 13 回ヒバクシャ国際署名埼玉連絡会報告

2019 年 11 月 6 日連絡会事務局

日時	2019 年 11 月 6 日(水) 15 時 00 分～ 埼玉県生協連 1 階会議室
参加団体	埼玉県原爆被害者協議会(しらさぎ会)、埼玉県生活協同組合連合会、原水爆禁止埼玉県協議会、埼玉のうたごえ協議会、コープみらい、生活クラブ生協、埼玉県労働組合連合会、聞き書き実行委員会、埼玉県平和委員会 (9 団体 11 人)

1. 田中代表から開会に先立ち、全国の状況や全国交流会の報告も含めて、あいさつがありました。内容は次のとおりです。
現在、全国連絡会では NPT 再検討会議の動きに合わせて、イベントを計画中です。埼玉県でも連動する企画について検討できればと思っています。
2. 9/4 に開催した第 12 回連絡会の報告を事務局から行いました。
3. 首長の賛同状況(県知事はじめ 61 首長)、県議会の賛同状況について確認をおこないました。新しい大野県知事への対応については、11/15 にしらさぎ会から 5 人が県知事との懇談に参加する予定があり、この場で知事として署名を働きかけることになりました。
4. 各団体からの活動報告を行いました。コープみらいからはさいたまスーパーアリーナでのイベント時の署名の取り組み、組合員の集まりの場での「せんそうほうき」づくりの取り組みについての報告がありました。他にも、連絡会に集まっている団体がコラボして行った駅頭署名行動についての報告、10/5 に行われた障害者まつりでの署名行動についての報告がありました。
5. 「ヒバクシャと出会うカフェ」の実現に向けた話し合いを行いました。出された意見の抜粋は次の通りです。
 - じっくり、ゆったり、被爆体験を聞くことのできる場にしたい。
 - お茶などを飲みながら気軽に集まれることが大切。子ども食堂とのコラボや、次世代への継承のためには、高校での開催も検討すると良いのではないのでしょうか。
 - 「ヒバクシャと出会うカフェ」をやっている、あるいはやると言うことが、発信され知る機会をつくることが大切。ツイッターなどの SNS の活用を検討したらどうか。

意見を受けて、活用してもらえるように整理し、定型化を進めることを確認しました。

6. 次回日程

2 月 5 日(水) 15:00～埼玉県生協連・会議室

埼玉県生協連 2019 年度第 2 回活動委員会

日時 2019 年 10 月 17 日 (木) 13 時 30 分～16 時 00 分
場所 埼玉県生協連会議室
出席 大久保 (委員長)、境・本多(コープみらい)、佐藤・石川(パルシステム埼玉)、
下川・中村 (生活クラブ)、高橋・牛渡[代理・村崎] (医療生協さいたま)、塩崎
(労済生協)、荒井(東都生協)
埼玉県生協連：吉川会長理事、事務局＝加藤・清水桂・清水勤・青木
オブザーバー：大田(日本生協連中央地連) 下線欠席／敬称略

■議題

I. 話したいこと

1. 台風 19 号被害について、埼玉県生協連から県内の動きについて報告した後、各生協から対応状況などを報告し共有を行いました。
2. 9・10 月活動報告に加え、上半期の取り組みについて各委員から報告し、交流を行いました。
3. 次の内容について、意見交換・交流を行いました。
 - (1) ヘルスチャレンジ 2019 の進め方について意見交換を行いました。全国での取り組み事例を報告するとともに、各生協で実施していることについて交流しました。
 - (2) 組合員活動交流会(12/12 開催)について意見交換を行いました。グループ交流を行うにあたり、各グループに 1 人は各生協の組合員がいる状況ができるように各生協複数の参加を依頼しました。

II. 日本生協連からの報告 (中央地連)

大田さんから、日生協・中央地連の報告や各種企画の呼びかけが報告されました。

III. 確認したいこと

1. 1/17 助け合い活動交流会の実施について提案、確認しました。
2. 2/12JA 女性組織協議会との早春交流会について提案、確認しました。
3. 11/16-17 彩の国ドリームフェスタの展示内容について提案、確認しました。スタンプラリーの看板に関することは、後日あらためて発信することになりました。
4. NPO 法人埼玉消費者被害をなくす会「めやすばこ」への協力を提案、確認しました。

IV. 報告したいこと

1. 業務報告として、埼玉県生協連 9 月度のまとめと今後の課題の報告を行いました。
2. 個別報告として、次の項目について報告を行いました。
 - (1) 九都県市防災訓練(8/31) 報告
 - (2) 2019 コヨット in 埼玉(9/14-15) 報告
 - (3) 第 55 回埼玉県消費者大会(10/10) 報告
 - (4) 2019 年度「体験稲刈り & 田んぼの生きもの調査」(9/14) 報告
 - (5) ヒバクシャ国際署名埼玉連絡会(9/4) 報告
 - (6) 2019 さよなら原発埼玉県民集会報告
 - (7) 2019 年度県内消費者団体全体研修会報告
 - (8) 消費者契約法改正に向けた専門技術的側面の研究会報告書に関する意見提出報告

V. 報告したいこと 文書報告

文書報告として次の報告を行いました。埼玉県生協連 2019 年度第 1 回活動委員会(8/22) 報告、2019 年度埼玉県生協連第 2 回理事会(9/12) 報告、活動日誌と予定
最後に、次回の活動委員会日程を確認して終了しました。次回の第 3 回活動委員会は、12 月 12 日(木)、組合員活動交流会終了後、14 時 30 分～16 時の予定です。会場はさいたま市市民会館うらわ 7 階会議室となります。

埼玉県生活協同組合連合会第3回理事会報告

1. 日時・会場 2019年11月21日(木)10時00分～11時50分 埼玉県生協連・会議室
2. 出席者
(出席理事) 理事総数15人中13人出席、
吉川理事、大久保理事、境理事、横山理事、長妻理事、木下理事、重盛理事、齊藤理事、丸山理事
柳川理事、土屋理事、後藤理事、河本理事
(出席監事) 監事総数3人中3人 高藤監事、奥野監事、佐々木監事
議長 横山理事 書記 加藤
なお、オブザーバーとして埼玉県労働者共済生協の和田さんが参加しました。

《交流事項》2019年度上期の経営状況、消費税関係、台風19号災害関係

出席された各会員生協より、2019年度上期の経営状況、消費税関係、台風19号災害関係について報告し、交流を行いました。

I. 議決事項 ありませんでした。

II. 協議事項 次のことを吉川会長より報告し、協議を行いました。

1. 埼玉県生協連2019年度上期まとめと下期課題
2. 埼玉県生協連の上期決算状況

なお、理事から環境の取り組みや消費者被害防止の取り組みについて、質問と意見がありました。

III. 報告事項

1. 専務理事報告 次のことを吉川会長より報告し、確認しました。
 - (1) 災害関連報告
 - (2) 埼玉県生協連9・10月度のまとめと今後の課題、2019年度第2回活動委員会報告(10/17開催)、2019年度第2回災害対策委員会報告(10/31開催)、2019年度第1回大学部会
 - (3) 2020年新春賀詞交換会について
2. 個別報告 次のことを埼玉県生協連の各担当職員より報告し、確認しました。
 - (1) 2019年台風19号被害緊急支援募金への拠出および埼玉新聞お見舞い広告への掲載について
 - (2) 組合員活動交流会ご案内(12/12開催)再掲
 - (3) 助け合い活動交流会ご案内(1/17開催)
 - (4) 開催3都県連共催「福祉事業公開学習会」報告(10/11開催)
 - (5) 第55回埼玉県消費者大会関連、第55回埼玉県消費者大会報告(10/10開催)、第55回埼玉県消費者大会本冊子、市町村における消費生活関連事業調査報告
3. その他の報告 次のことを吉川会長と担当職員から報告し、確認しました。
埼玉県議会会派との懇談について、年賀状について

IV. 監事会報告 2019年度第3回監事会について高藤監事が報告し、確認しました。

V. 文書報告 次のことを横山議長より、事前通知事項として報告し、確認しました。

2019コヨットin埼玉報告(9/14.15開催)、消費者契約法一部改正のパブリックコメント提出、生協総合研究所公開研究会、関東食育推進ネットワーク「食の未来を語る会」メンバー公募、2019さよなら原発埼玉県民集会および団体交流会報告(10/5開催)、活動日誌

次回の第4回理事会は、1月16日(木)15時30分から、埼玉県生協連会議室で行います。終了後18時からは2020新春賀詞交換会をロイヤルパインズホテル浦和で行います。

市民新電力「彩の国でんき」(仮称)設立をめざす集い

NPO 法人埼玉自然エネルギー協会

日時 12月13日(金)午後6時開場 6時30分開会

場所 浦和コミュニティセンター第15集会室(浦和駅東口前 浦和パルコ上9階)

(資料代500円。会員・賛助会員は無料)



◆講演

北村和也・地域活性エネルギーリンク協議会代表理事

「なぜ地域新電力が大切なか 設立には何が必要か、全国の経験に学ぶ」

◆報告

山本政雄・中之条電力代表理事

「電力の地産地消を推進する中之条電力」

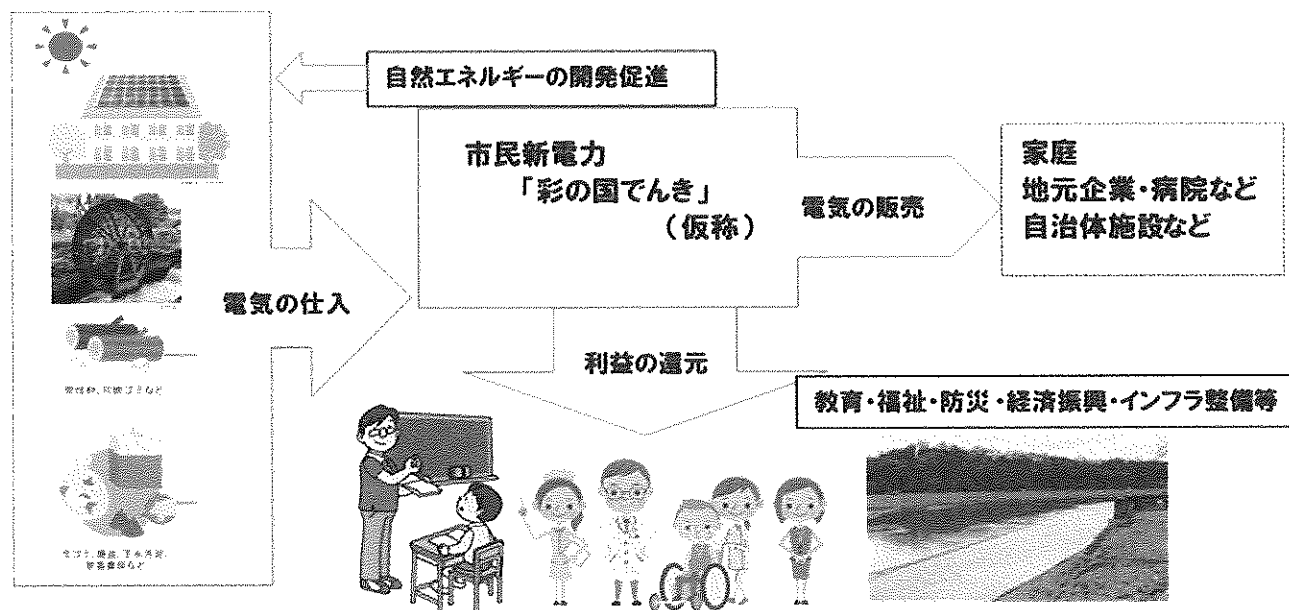


◆報告 「彩の国でんき」(仮称)設立への提案 「彩の国でんき」設立準備会

近年の集中豪雨や猛烈台風の襲来の大本には、海水温の上昇など地球温暖化の進行があります。9月の国連ではスウェーデンのグレタ・トゥンベリさんが「子供たちを見捨てるなら許さない」と発言、「グローバル気候ストライキ」に185カ国760万人以上が参加しました。気候非常事態宣言が発せられ、世界の77カ国が2050年までに二酸化炭素の排出を実質ゼロにすると約束しました。いまこそ、脱炭素、省エネへのエネルギー転換によって地球環境と調和した暮らしと経済をつくることは、世界と日本の最大の課題となっています。

日本では石炭火力や危険な原発に固執する電力体制をあらため、市民や自治体が主導し地域に眠る自然エネルギーを活用した地域分散型の地産地消システムを構築していくことがカギとなっています。自然エネルギーによって産み出された利益は直面する地域課題(福祉・教育・防災等)の解決に役立てることができます。

その第一歩として、市民新電力「彩の国でんき」(仮称)を設立しようとの動きが始まっています。これについて、全国の経験に学び、討論し、応援していこうとの集いです。



主催 NPO 法人埼玉自然エネルギー協会

連絡先 吉村 E-mail info@saine-2013.com

Tel 090-7843-8653

Fax 048-864-8686

HP <http://saine-2013.com>